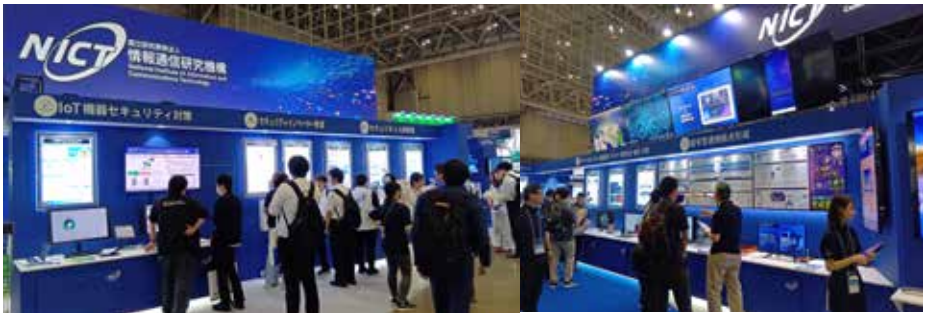
最新のICTとそのソリューションを体感するインターネットテクノロジーのイベントInterop Tokyo 2026が2026年6月10日（水）～6月12日（金）に幕張メッセにて開催された。



主催：Interop Tokyo 実行委員会
運営：一般財団法人インターネット協会／株式会社ナノオプト・メディア
特別協力：WIDEプロジェクト
後援：内閣府宇宙開発戦略推進事務局、デジタル庁、総務省、文部科学省、経済産業省、千葉県、千葉市、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)、独立行政法人中小企業基盤整備機構、独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、ほか多数。
来場者は3日間トータルで143,312名で、2025年よりも6,437名の増加であった。

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）

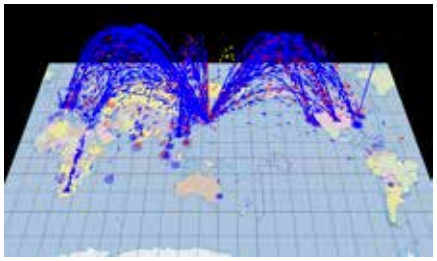
サイバーセキュリティ研究の最前線と社会展開

国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)サイバーセキュリティ研究所では、巧妙かつ複雑化したサイバー攻撃や普及が進むIoT機器等への脅威から我が国を守るため、NICTの中立性を活かしたサイバーセキュリティ技術の研究開発、研究の成果を生かした人材育成等を行っている。
当研究所では、安心・安全なICT環境を実現するために取り組んでおり、本展示では、サイバー攻撃の大規模観測・分析技術やアラートシステムを始め、サイバーセキュリティの産学官の結節点を目指すサイバーセキュリティネクサスのプロジェクト、研究開発の社会展開等、多様な取組みについて紹介した。

1：サイバーセキュリティ研究室

巧妙かつ複雑化したサイバー攻撃や普及するIoT等への未知の脅威に対応するためのサイバーセキュリティ技術の研究開発を行っています。また、無差別型攻撃や標的型攻撃等多様化したサイバー攻撃の情報を大量に集約・分析し、サイバー攻撃対策の自動化を目指す技術の研究開発を行います。さらに、研究開発成果を機構自らのサイバー攻撃分析能力の強化のために適用することにより、研究開発における技術検証を行い研究開発成果の速やかな普及を目指します。

2.NICTER ～インシデント分析センター～



NICTER（ニクター：Network Incident analysis Center for Tactical Emergency Response）はインターネットで起こる無差別型攻撃への迅速な対応を目指したサイバー攻撃観測・分析・対策システムです。ネットワーク観測システムと、マルウェアの自動解析システムを融合させ、ネットワークで今まさに起こっている「現象」を俯瞰的に把握し、さらにその「原因」と考えられるマルウェアをリアルタイムに推定します。

3. DAEDALUS　～対サイバー攻撃アラートシステム～

DAEDALUS（ダイダロス：Direct Alert Environment for Darknet And Livenet Unified Security）はNICTERのダークネット観測網に基づいた対サイバー攻撃アラートシステムです。マルウェア感染機器による組織内/外への攻撃活動をダークネットで検

知し、攻撃元の組織にリアルタイムにアラートを発報します。地方公共団体情報システム機構（J-LIS）との連携で、地方公共団体向けにDAEDALUS アラートの無償提供を行っています。

4.STARDUST ～サイバー攻撃誘引基盤～

STARDUST（スターダスト）は標的型攻撃等の高度なサイバー攻撃について攻撃者特定（アトリビューション）を行うための攻撃誘引基盤です。攻撃者を外部から誘引し長期分析するために、企業サイズの精巧な模擬環境“並行ネットワーク”を柔軟かつ高速に自動構築し、マルウェア検体を実行。模擬環境中でステルス性の高いリアルタイム観測・分析を可能にします。Wormhole（ワームホール）で並行ネットワークと実ネットワークを接続し、並行ネットワークを実ネットワークのIP アドレスに模擬することも可能です。

5. サイバーセキュリティネクサス

これまで情報通信研究機構（NICT）サイバーセキュリティ研究所で取り組んできた研究開発・人材育成のノウハウやデータをCYNEX に結集。国内の民間企業や教育機関と連携し、サイバーセキュリティに関する産学官の巨大な『結節点』となる先端的基盤と人的コミュニティの構築を目指して発足した組織です。内部では連携領域ごとに４つのサブグループCo-Nexus を構成し、サイバー攻撃の解析、情報共有、国産技術の開発支援、セキュリティ人材育成等、それぞれの領域で国内のサイバーセキュリティ自給率の向上を牽引します。

6.WarpDrive　～電脳空間におけるタチコマ・リアライズ～

WarpDrive（ワープドライブ：Web-based Attack Response with Practical and Deployable Research InitiatiVE）はWeb 媒介型攻撃の実態把握と対策技術の向上を目指したユーザ参加型プロジェクトです。「攻殻機動隊SAC_2045」シリーズに登場するキャラクター「タチコマ」がユーザのWeb ブラウザの中でWeb 媒介型攻撃の観測 / 分析 / 通知を行い、悪性サイトへのアクセスを遮断。並列化により最新の攻撃に対応します。　© 士郎正宗・Production I.G/ 講談社・攻殻機動隊 2045 製作委員会

7. さぁ！ネットにも戸締まりを～ IoT 機器のサイバーセキュリティ対策 NOTICE ～

IoT 機器を悪用したサイバー攻撃は日々拡大しており、パスワード設定の不備などに起因するIoT 機器のマルウェア感染は、現在も主要な感染経路の一つとなっています。ナショナルサイバーオブザベーションセンターでは、こうしたサイバー攻撃の発生や被害を未然に防止することを目的として、総務省やインターネットサービスプロバイダ、IoT 機器メーカー等と連携し、サイバー攻撃に悪用されるおそれのあるIoT 機器の調査、利用者への注意喚起および関係者への情報提供等を行う「NOTICE」プロジェクトを実施しています。

また、調査システムの高度化や新たな調査・分析手法の研究開発と運用を通じ、国内外のサイバー脅威の把

8.NICT の強みを活かしたサイバーセキュリティ人材育成

NICT サイバーセキュリティ研究所で取り組んできた研究成果と知見を、不足していると言われているサイバーセキュリティ人材の育成に活用。誰一人取り残さないサイバーセキュリティの実現に向けて、リアリティのある実践的なサイバー演習を提供しています。展示では、セキュリティ初学者から上級者までそれぞれのレベルに応じたシナリオでインシデントハンドリングを体験できる【実践的サイバー防御演習 "CYDER"】の紹介と日本の未来を担うセキュリティイノベータを育成するU25 プログラム【SecHack365】の特長や実績紹介、情報処理安全確保支援士向け実践講習【実践サイバー演習 "RPCI"】についてご案内いたします。

9.AI セキュリティ研究センター (CREATE) ～ AI の安全性評価～

AI の安全な利用のためには、AI モデルの安全性確保も重要です。

本展示では、「Security for AI」の観点から、大規模言語モデル (LLM) に対する攻撃手法を通じて、現在の一般的な安全機構の限界を示すとともに、複数の AI モデルを横断的に評価可能な AI セキュリティ評価基盤を紹介します。

㈱朋　栄

創業 55 年目の「放送・映像機器メーカー」である同社では、本展では、「統合監視プラットフォーム」「映像伝送」「操作デバイス」の各カテゴリの製品群を実際の運用シーンに近い形で展示。複雑化するネットワークや機器状態の一元的な可視化、的確な遠隔監視、運用の省人化、迅速な障害対応など、現場の課題解決に直結する多彩なアプローチから、より安全で効率的な運用環境の構築までを提案した。

主な出展製品は以下の通り。

●**統合運用プラットフォーム DataMiner(Skyline Communications 社)**

各種システムを横断的に可視化し、監視・制御・自動化を一つの環境で実現する統合運用プラットフォーム。AI を活用した分析・運用支援により、インフラの遠隔監視、障害の早期解決、大幅な作業効率化を実現する次世代の運用基盤である。

●**4 出力 4K 対応 UHD レシーバー Dejero WayPoint 3 (Dejero 社)**

Dejero 送信機からの IP 映像を受信する 1RU サイズのデコーダー。最大 4 系統の HD・2 系統の 4K（HEVC/AVC）を SDI/MPEG-TS で出力し、省スペースで柔軟な複数映像の取り込みを実現する。

●**小型モバイルトランスミッター/ゲートウェイ Dejero EnGo 3s (Dejero 社)**

報道や中継に最適な4K モバイルトランスミッター。5G と複数回線を束ねるGateWay モードで高速ネット環境を構築し、最短0.5 秒の低遅延で映像を伝送可能。車載やドローンなど幅広い運用に対応する。

●**トリプル 5G 対応ルーター Dejero TITAN Command (Dejero 社）＜参考展示＞**

業界初のトリプル 5G モデム構造を備えた高信頼性ルーター。独自の技術で 3 つの独立した 5G モデムを統合し、過酷な環境下でも強靭で安定したネットワークを提供する。コンパクトながら極めて高いパフォーマンスを発揮し、指令センターや緊急対応など、通信の安定性が不可欠なミッションクリティカルな運用に最適。

●**コントロールサーフェス Elgato Stream Deck Studio** (CORSAIR 社)

当社が国内独占販売している放送・ライブ制作向けの高機能ライブコントロールサーフェスです。32 個の LCD キーとダイヤルで多様な機器を直感的に操作可能。複雑なシステム制御をシンプルな UI に集約し、現場のオペレーション効率を大幅に向上する。

●**コントロール & モニタリングシステム Buttons (Bitfocus 社)**

放送・AV システムなど多様な機器を統合制御する次世代プラットフォーム。ノーコードでの画面設計やワークフロー構築に対応し、現場に合わせた柔軟なカスタマイズが可能。複雑なシステム運用を一元化し、迅速な操作とヒューマンエラーの低減、運用負荷の大幅な軽減を実現する。

ま　た、Interop 出展社の様々な製品やサービスを組み合わせ、会場内にネットワークを構築するプロジェクト「ShowNet」の MoIP コーナーにて、朋栄製マルチチャンネルプロセッサー FA-1616 シリーズが使用されている。

【問い合わせ】

株式会社朋栄

国内営業本部

TEL：03-3446-3121

FAX：03-3446-4451

e-mail：ad@for-a.co.jp

日本フォームサービス㈱

会場内「Data Center Summit」および「Digital Signage Japan」エリア境界付近にて出展し、データセンター向け熱対策・セキュリティ対策製品をはじめ、サイネージ・教育市場向けソリューションまで幅広く紹介。

AI活用の拡大に伴い重要性が高まるデータセンター環境の最適化や、安心・安全な情報発信環境を支える各種ソリューションを、実機展示を交えて提案した。

液浸冷却装置「ICEraQ® Nano Japan Edition」

生成AI用途やGPUサーバーなど高負荷環境にも対応する液浸冷却ソリューションで、高密度実装環境における効率的な冷却・省エネルギー化に貢献する製品である。

サーバー機器全体を絶縁性の冷却液に直接浸し、液体の対流で熱を効率よく排出する方式。ファンや空調に依存せず、均等で静音性に優れた冷却を実現する。

同社が提供するICEraQ®シリーズは、一相液浸冷却システム(1phase)を採用。構造がシンプルなため、初期導入や運用コストを抑えた効率的な冷却が可能である。

▶https://www.forvice.co.jp/wp/wp-content/uploads/ICEraQ_catalog.pdf

セキュリティケージ　FDC-NSC シリーズ

通気性と強固さを兼ね備えた物理セキュリティ。サーバー機器やネットワーク機器の物理セキュリティ向上に対応した、高い通気性と堅牢性を兼ね備えたセキュリティケージ。

▶https://www.forvice.co.jp/wp/wp-content/uploads/FDC-NSC_catalog.pdf

クリーン・アンカーレスラック NEW

地震による衝撃を軽減する減震機構を備え、堅牢性と拡張性を両立した19インチラック。

従来の19インチラック導入時に課題となっていた、床面への穴あけ工事やアスベスト調査を行うことなく設置が可能。

古いオフィスビルや工場、公共施設など、建物への加工が難しい環境でも導入しやすく、調査コストの削減や工期短縮に貢献する。

▶https://www.forvice.co.jp/wp/wp-content/uploads/FNGR_catalog.pdf

アイルコンテインメント -HOT-（参考出展）

サーバーラックの排熱を効率的に管理し、データセンター環境の空調効率改善に貢献するソリューション。

近年、データセンターの大型化・高密度化が進む中、熱対策・空調効率の最適化が重要な課題となっている。

冷気の流れを適切に制御できなければ、冷却効率の低下・ホットスポットの発生・電力消費の増大・システム信頼性の低下といった問題を引き起こす恐れがある。

「コールドアイルコンテインメント」は、空調機から供給された冷気をラック前面の通路内に閉じ込め、サーバーの吸気側へ効率的に送り届けるシステム。冷気と排熱の混在を防ぎ、吸気温度の安定化・冷却効率の向上・運用コストの削減を実現する。

▶https://www.forvice.co.jp/wp/wp-content/uploads/containmentcold_catalog.pdf

■電動昇降スタンド DS-E905

ボタン操作で簡単に高さ調整が可能。教育現場や会議空間など、多様な利用シーンに対応する電動昇降スタンド。

▶https://www.forvice.co.jp/wp/wp-content/uploads/DS-E905_catalog.pdf

■転ばんスタンド3（参考出展）

前脚部を折りたたんで設置できる安全設計を採用。

高齢者や子どものつまずき・転倒リスク低減に配慮したサイネージスタンドです。

▶https://www.forvice.co.jp/wp/wp-content/uploads/FFP-SCBS2_catalog.pdf

ニッキャビ㈱

高負荷サーバー搭載を想定したデータセンター向けの最適なソリューションとして、新型サーバーラック「AIR シリーズ」を出展。

開口率 84.3% のハニカムパンチングメタルを採用した前後ドアは、従来ラックを大きく上回る排熱性能を発揮。高負荷GPU サーバーの安定稼働に貢献する。

高密度サーバーに必須となる高重量機器の実装に対応し、最大1t の搭載荷重を確保したフレーム構造を採用。耐震性能の試験にも合格しており、データセンターの求める環境に安心して導入できる。

また、AIR ラックの背面ドアーには、高負荷サーバー向けの冷却効率と省スペース性を両立する「Active Rear Door Heat Exchangers（ADHx シリーズ）」を搭載。AIR ラックに追加工無しで取付を実現する。

そして、AIR ラックが水冷サーバーシステムに進化する。背面拡張フレーム・水冷サーバー・CDU・マニホールド・システム構成・施工まで私たちのアライアンスでトータルコーディネートを提案。

実運用を想定した展示により、導入後のイメージを具体的に確認することができた。

さらに、特許取得済みの排熱効率化ソリューション「モジュール式空調アシストシステム」や、「トップヒートシャッター（Top HeatShutter）」を取付た。ラック背面からの排熱が前面へ回り込むことを防ぎ、マシンルーム全体の空調効率を飛躍的に高める空調補助ソリューションである。

そのほか、樹脂製ブランクパネル「EZI ブランク」シリーズ を出展。

「EZI ブランク」は、19 インチラックの未使用スペースを効率的に塞ぎ、ホットアイルとコールドアイルの空気混在を防止することで、機器の冷却効率を大幅に向上させるソリューションである。

ツールレスで簡単に取り付けられ、1U ごとに切り離し可能な柔軟な設計により、機器実装に合わせた使いやすさを実現している。

また、ブラック・ホワイトのカラー展開や、ケーブル通線がスムーズに行えるブラシ付き「EZI BRUSH」モデルなど、用途に応じたラインアップも充実。軽量かつ耐久性の高い樹脂素材を採用し、排熱対策と作業性の両立を追求している。

リーダー電子㈱

今回の出展では「Test with Clarity, Measure with Accuracy, Monitor with Confidence.」をテーマに掲げ、日々進化を遂げるIP/SDI ハイブリッド環境や、高精細な4K 制作を強力にバックアップする最新の映像計測ラインナップを提案。

また、同展示会の目玉企画である大規模ネットワークプロジェクト「ShowNet」にも参加し、Media Over IP に特化したソリューションを実演・展示した。高精度な時刻同期の要となるグランドマスタークロック「LT4670」を中核に据え、4K/HD/SD-SDI およびIP 信号に対応した波形モニター「LV5600W」、さらにImagine Communications 社製のメディアプロセッシングプラットフォーム「SNP」を組み合わせた、実践的なシステム構成を紹介した。

■シンクジェネレーター 「LT4670」

SDI とIP の両環境をつなぐ、ハイブリッド同期信号発生器。PTP から従来のアナログ同期信号まで、あらゆる同期要件に対応する1U サイズのジェネレーターです。デュアル電源やホットスワップ対応により、24 時間365 日の放送運用に不可欠な高い信頼性と安定性を提供する。

■波形モニター 「LV5600W」

SDI とIP の両環境をシームレスに監視する、真のハイブリッド

12G-SDI からIP ネットワーク、JPEG XS まで幅広く対応する波形モニター。

WebRTC 対応により遠隔からのセキュアな制御・監視が可能となり、現代の多様な運用環境に柔軟に適応する。

■IP メディア処理プラットフォーム「SNP」

SDI とIP の両環境をつなぎ、多彩な映像変換を担う処理プラットフォーム

HD/3G 信号を最大32 系統、4K を8 系統同時に処理できるメディア処理プラットフォームです。SDI とIP の相互変換をはじめ、解像度やSDR/HDR の変換、超低遅延マルチビューワーなど多彩な機能を1 台に備え、システムの効率化を静かに支える製品。

■波形モニター 「LPX500」

ハイブリッドIP/SDI 対応、独立デュアル表示の波形モニター

最大4 系統の12G-SDI と2 系統の100GbE-IP 入力を同時監視できる次世代波形モニターです。独立した2 つの画面とアプリベースの直感的なインターフェースで、複雑なハイブリッド環境の運用をスマートに支援する。

■波形モニター 「QxP」

最新のIP/SDI 環境を持ち歩ける、バッテリー駆動のポータブル測定器

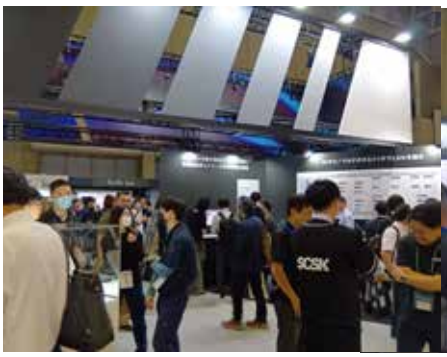
12G-SDI および25G IP 環境に対応した高性能なポータブル波形モニターです。3U サイズの筐体に7 インチのマルチタッチ画面と外部バッテリーマウントを備え、ロケ先や中継車でもスタジオと同等の高度な信号解析を実現する。

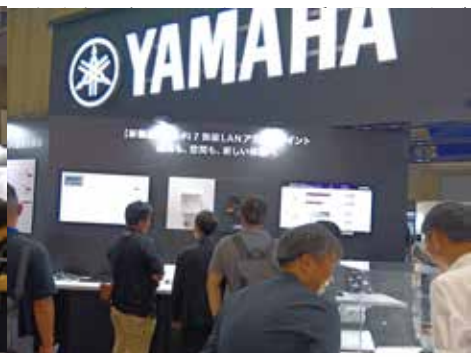
ヤマハ㈱

ネットワークの高速広帯域化や様々な運用管理、Media over IP ソリューションなどヤマハネットワーク機器を活用したソリューションを紹介。
これからのネットワークを支える新製品の展示や映像伝送の体験コーナーも用意して展示紹介を行った。

■ネットワーク製品の提案

ルーターからスイッチ、無線APまで、トータルヤマハソリューション。
文教・ヘルスケア分野での活用事例紹介。
ネットワーク統合管理サービス「Yamaha Network Organizer」(YNO)：ヤマハネットワーク機器をクラウド上で監視・管理することのできる統合管理環境を提供するサービスで、機器の管理や設定変更だけでなく、SYSLOG の解析機能も搭載されている。
HTTPS 通信ができる環境であれば、NAT 配下やプロキシ配下などでも利用可能。
YNO からはヤマハ製のルーター、L3 スイッチ、インテリジェントL2 スイッチ、および無線LAN アクセスポイントを直接管理できる。ヤマハネットワーク製品のWeb GUI 画面をYNO 経由で表示することも可能です(GUI Forwarder 機能)。ヤマハルーターやスイッチ本体に搭載されたLAN マップ機能を用いてLAN 管理している環境では、配下のLAN 環境の状況もYNO 経由で確認が可能である。





無線LANルーター
「NWR100」

無線LANアクセスポイント
「WLX333」「WLX232」

インテリジェントL2スイッチ
「SWX2320-30MC」

■サウンドソリューションの提案

ヤマハが提案するAV over IPソリューション。NW ＋音響＋映像を統合するシームレスなシステム構築。

多様なニーズに応えるヤマハの安心設計

SoundUD：「SoundUD（サウンド・ユーディー)」は、ヤマハが開発した「音のユニバーサルデザイン化」技術です。アナウンス音声に特殊なトリガー音を埋め込むことで、スマホや対応機器を通じて多言語のテキスト

主な対応アプリ：観光や案内向けに「おもてなしガイド」などのアプリが広く利用されています。
聴覚に障がいがある方や外国人観光客など、すべての人に情報を正確に伝えるためのシステムとして、全国の鉄道や空港、スタジアムで導入が進んでいます。

ヤマハ株式会社 音響事業本部 プロフェッショナルソリューション事業ネットワーク推進部
代表連絡先：comm-marketing@inquiry.yamaha.

オムロン フィールドエンジニアリング㈱

DX 化が進む製造業では、工場ネットワークの高度化・複雑化やインターネット接続機器の増加に伴い、製造ラインの停止リスクやサイバー攻撃といった新たな課題が顕在化しています。特に、OT ネットワークの管理者不足や属人化、障害発生時の原因特定の遅れ、OT ／IT 境界領域のセキュリティ対策に不安を感じている工場・製造部門も少なくありません。
本展では、こうした課題の解決に向けて、製造現場の安定稼働と工場DX を支える「OT ネットワーク・セキュリティソリューション」を紹介した。

主な展示内容

■OT ネットワーク・セキュリティソリューション：オムロングループ工場の生産技術担当者と共に、10 年にわたり試行錯誤を重ねる中で蓄積してきた、製造業向けネットワークの設計・運用の勘所を紹介。
製造業ネットワークのあるべき姿と現状とのギャップを明らかにし、「止めない工場ネットワーク」を実現するための現実的な対策アプローチを、事例とともに解説。
また、お客様の現状と将来像に合わせて段階的に提供する支援モデルについても説明。

(支援モデル一例)

企画／設計フェーズからの伴走支援。OT ／IT の境界防御。NW 環境の強靭化。IDS 導入。24 時間365 日の監視／運用支援

【詳細はこちら】→OT ネットワーク・セキュリティソリューション

■マクニカ社との協業による最新ソリューション：OT セキュリティ分野における先進的な知見を有するマクニカ社との協業により、以下のソリューションを展示。

・世界最高峰の脅威インテリジェンスを活用した OT-IDS「Dragos」
・OT ／IoT ／ネットワーク機器に対する最先端の脆弱性診断を提供する「DeviceTotal」

【詳細はこちら】→ Dragos：プラント・工場向けOT セキュリティプラットフォーム
デバイストータル：OT・IoT・ネットワーク機器向け脆弱性管理

ブースでは、実際の工場ネットワークを想定した構成例をもとに、障害・セキュリティリスクをどのように整理し対策につなげていくかを分かりやすく説明した。
また、自社工場の課題を想定した導入ステップや進め方について、専門スタッフがその場でご相談に応じます。